

事業概要シート

施策 0602 高齢者の生きがいくりと介護予防の推進 <<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

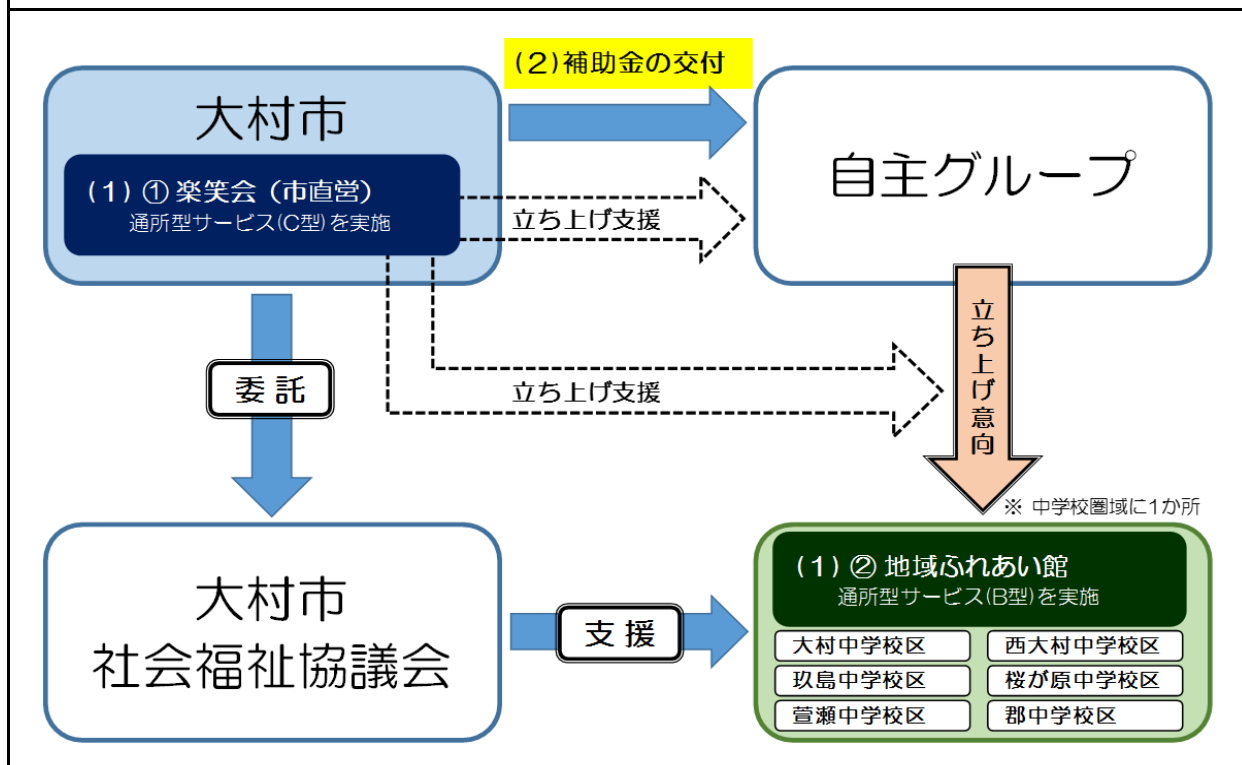
事業名	健康づくりのための地域活動支援事業	現状維持	予算額	9,602 千円
			<< 9,157 >>千円	
事業期間	平成25年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	2,390 千円
根拠法令要綱等	介護保険法、地域支援事業実施要綱		県支出金	1,195 千円
			地方債	0 千円
			その他	2,622 千円
			一般財源	3,395 千円

【事業の目的・概要・対象】

◆事業の目的
 高齢者が介護予防・健康づくりに取り組むとともに、身近な地域における介護予防の拠点づくりを進める。

◆事業の概要
 (1) 地域における介護予防推進を目的とした介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスの実施
 ① 運動・栄養・口腔・認知機能向上等に関する介護予防の取り組みを行うため、市主体による通所型サービス(C型)を実施する。
 ② 地域住民が主体となった地域高齢者の通いの場(B型)を整備する。
 (2) 地域活動を支援するための補助金の交付
 健康づくりや介護予防活動を実施する地域組織等に対し、活動に必要な経費の一部を補助する。

◆対象
 介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援1・2の認定者、介護予防に取り組む高齢者



【背景】

加齢に伴う筋力や関節可動域の低下は高齢者にとって転倒のリスクが高まるだけでなく、日常生活や社会参加の意欲低下にも影響を与える。身近な地域において介護予防教室や自主グループ、地域ふれあい館などの「通いの場」を整備し、高齢者が自ら介護予防や健康づくりへ取り組むことができる環境を整える必要がある。

担当課	福祉保健部長寿介護課	課長	角野 章子
担当者	井手 聡美	問合せ先	0957-53-8141 (内線201)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	活動支援補助金の交付団体数	団体	13	12	24	24	24
②	通所サービスC型(楽笑会)開催回数	回	37	45	45	45	45

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	通所サービスC型(楽笑会)参加実人数	人	115	165	66	66	66
②	地域ふれあい館運営協議会	箇所	6	6	6	6	6

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	8,284	7,858	9,157	9,602	9,602	9,602	54,105
国庫支出金	2,060	3,076	2,281	2,390	2,390	2,390	14,587
県支出金	1,032	980	1,141	1,195	1,195	1,195	6,738
地方債							0
その他	2,335	2,133	2,496	2,622	2,622	2,622	14,830
一般財源	2,857	1,669	3,239	3,395	3,395	3,395	17,950
人件費	2,627	4,937	5,162	5,162	5,162	5,162	28,213
職員(人)	0.32人	0.65人	0.67人	0.67人	0.67人	0.67人	3.65人
時間外勤務(h)	150h	105h	145h	145h	145h	145h	835h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	10,911	12,795	14,319	14,764	14,764	14,764	82,318

妥当性 (市の関与)	保険者として、介護予防・日常生活支援総合事業を整備し、高齢者が介護予防に取り組む環境づくりを行う義務がある。
有効性 (施策貢献度)	高齢者が住み慣れた地域で元気に過ごすために、地域組織の育成・支援は有効である。
効率性 (コスト)	他事業に配置している専門職と協同し事業を遂行するなど効率的に実施しており、コスト削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり